

ケストヘイ (Keszthely)

ケストヘイへの行きかた・基本的情報

西南ハンガリーにある「ケストヘイ」という町について紹介したいです。ケストヘイはザラ県にあって、人口は約 2 万人です。首都のブダペストから南西方向に 187 キロメートルのところにあります。ブダペストからなら鉄道と長距離バスでも行けます。普通に鉄道で行く場合は南駅からバラトンセメシュ行きの急行に乗って、バラトンセメシュ駅でケストヘイ行きの普通電車に乗ると一番速いです。残念ながらブダペストから直通で行く列車はありません。それで移動に 3 時間ぐらいもかかってしまいます。バスにする場合、ネープリゲトバス駅から 1194 番のバスに乗ると約 2 時間半で着きます。

現在ケストヘイがある場所には、古代ローマ時代にケルト人や商人のローマ人が住んでいたそうです。5 世紀から 8 世紀までフン族やローマ人や東ゴート族など、様々な民族がこの地方を通りました。

ケストヘイが最初に記録に現れたのは 1247 年です。10 世紀から 12 世紀までは、この地方の人口についての記録は残っていないそうです。町の名前の由来は不明ですが、ラテン語の「castellum = 城」から来ている可能性があります。



歴史

現在ケストヘイがある場所には新石器時代から人間が住んでいたそうです。紀元前 6000 年ぐらいの遺跡があります。

紀元前 1 世紀の終わりにローマ人がドナウ川ドナウ川以西を支配した結果、今ケストヘイがある場所もパンノニア皇帝属州に属していました。

9 世紀には、8 世紀の後半にフランク人に滅ぼされたアヴァール帝国の生き残ったアバール人や南スラヴ人がこの地方に移動したと言われています。10 世紀から 12 世紀までは、この地方の人口についての記録は残っていないそうです。14 世紀になるとケストヘイは大きく栄えました。1385 年ぐらいフランシスコ会の修道士がケストヘイに移り住み、巨大な教会を出来ました。面白いことに、1386 年に立てられた教会の一つ、町の中央広場にある教会の天井にハンガリーで最大の壁画が描かれています。

15 世紀の前半に町の人達はだいたい農業や漁りをしました。15 世紀の後半にケストヘイの人口は約 1000 名で、この地方で最も人口の多い町でした。1532 年より 17 世紀にかけて、何度もオスマントルコの軍隊が町に押し寄せ強奪をはかりました。しかしケストヘイは結局オスマンオスマン人に支配されませんでした。1703 年から 1711 年までのラーコーツィの独立戦争にケストヘイの人もたくさん加わりました。その後、18 世紀の前半から 1848 年の独立戦争までの間、町がまた大きく発達し始めました。例えば、1797 年に街の有名な損族であるフェシュテティチュ・ジョルジュがヨーロッパでの最初の農業大学を樹立しました。

独立戦争以降、街の発展のスピードは遅くなりましたが、20 世紀の前半にはケストヘイは観光客が多く訪ねる、又栄えている街になりました。第一次世界大戦のあとは国の経済は悪くなり、ケストヘイの発展もまた止まってしまいました。第二次世界大戦ではケストヘイは幸い大きな被害を受けませんでした。

戦後、1954 年にケストヘイは市になりました。しかしこのこと以外は 1950~60 年代に特筆すべき変化がなかったためケストヘイは古い雰囲気が残っているといわれています。

1979 年にケストヘイと周辺の地域はザラ県に組み入れられました。現在、ケストヘイはまた発展のスピードを上げています。

有名人

Szendrey Júlia

センドレイ・ユーリアは 1828 年 12 月 29 日にケストヘイで生まれました。1848 年のハンガリー革命に対して大きな影響をおよぼした有名な詩人であるペテーフィ・シャーンドルと結婚し、彼がなくなった後にホルヴァート・アールパードという史学者と再婚しました。



彼女はその時代では珍しいことに最初の夫と同じように詩人でした。ペテーフイ・シャーンドルはユーリアについてたくさんの有名な詩を書きました。

革命のシンボルになった円形章を初めて作った人もセンドレイ・ユーリアでした。彼女は1867年ぐらいに大病になり、1868年9月6日に死亡しました。



1848・1849年のハンガリー革命で使われた円形章

ケストヘイの名所

Kossuth Lajos utca (Sétáló utca)

ケストヘイの都心にあり、にぎやかな「コシュート・ラヨシュ」通りにはお土産店、レストラン、様々特別な商品を買っている店がたくさん並んでいます。中世にはこれはケストヘイで唯一の通りだったそうです。

面白いことにブダペストのある道に比べたいと、ヴァーツ通りが思い浮かべると思います。この理由は、この道を歩くと、ブダペストのヴァーツィ通りを歩いているような気分になります。

でも、似ているのは雰囲気だけではありません。名前も（歩行者天国である）ヴァーツ通りと同じように「sétáló utca」（ゆっくり歩くための道）とも呼ばれています。この道を端から端まで歩くと面白い形の数階建ての建物とか、大切な役所などがあります。

道の一番はじめにある有名なフェシュテティチュ城をはじめ17世紀に創立した学力レベルが高水準の「ウァユダ・ヤーノシュ」高校やケストヘイの有名人が生まれた家まで本当に色々な建物をみる事ができます。中央広場にある有名な古い大教会もここに 있습니다。それから道の近くに多種類の珍しい博物館や蝋人形館もあります。例えば蝶々を陳列する博物館やルネサンスのエロ博物館や国会議事堂のカタツムリの皮で作った模型を陳列しているところもあります。（その様々な博物館についての写真はこちらへご覧ください

<http://www.csigaparlament.hu/hu/galeria-galerie-gallery>) したがってケストヘイに行くなら、この道を歩いてみ見る価値があると思います。



地図や写真、そしてもっと詳しい情報（ハンガリー語）はこちら

<https://west-balaton.hu/keszthely/keszthely-latnivalok/setaloutca>

かこちらへ

<https://www.keszthely.hu/latnivalok/setaloutca#> (英語もありますが、使えないようです)

Festetics kastély (フェシュテティチュ居城)



フェシュテティチュ居城 Készítette: Thaler - A feltöltő saját munkája, CC BY-SA 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=28624678>

ハンガリーで4番目に大きいフェシュテティチュ居城はハンガリーで有名な尊貴のフェステティチュ家が建てた城です。フェシュテティチュ居城は18世紀の後半に建てられ始めましたが、1880年代に完成しました。お城の様式はバロック式です。20世紀の大戦では大きな被害を受けなかったため、現在見られる建物はだいたい元々建てられていた状態にあります。中にある「ヘリコン図書館」にはおよそ8万冊の本が集められています。これはヨーロッパで最大無傷で残った貴族の本集蔵書です。このほかに有名な「Balatoni Borok Háza」(バラトン湖のワインの家?)というレストランとワイン蔵、そして様々な展覧会があります。音楽に関するイベントもまれではありません。しかし、これだけでなく、お城の庭は大きくて、きれいだからそれもお覧ください。

レストラン・宿・お店情報

Balatoni Borok Háza (バラトニ・ボロク・ハーザ)レストラン

このレストランは基本的にワイン蔵として営業しますが、珍しいハンガリーやフランスなどワイン・シャンパンを味見することだけでなく、特別なハンガリー・イタリア・フランス料理を楽しむことができます。それからワインに関する展覧会もよくあります。お食事のメニューは毎日変わることになっています。お食事とワインのメニューはホームページで見られます。インターネットか電話によって予約できます。結婚式やお誕生日の宴会も行います。

住所: 8360 Keszthely, Kastély u. 1. (フェシュテティチュ居城の地下)

営業時間: 毎日午前10時~午後5時

電話番号: +36 30 192 3377

メール info@balatoniborokhaza.hu (英語も可)

詳細はこちらのホームページへ（ハンガリー語）：

<http://www.balatoniborokhaza.hu/>

宿

Olívia Apartman（オリーヴィア・アパートマン）

オリーヴィア・アパートマンはとても素敵で人気があるような宿泊先です。ケストヘイの都心にも近いし、バラトン湖の湖水浴場もあまり遠くないです（車で5分、バスで約20分ぐらいかかります。）フェシュテティチュ居城は歩いて9分ぐらいの距離にあります。WiFiは無料をご利用できます。部屋の中にはオーブンも電子レンジもトースターあります。テレビやCDプレーヤー、それからドライヤーなどの日常生活でよく使う洗面具も備え付けです。このアパートマンにはお客様が使えるグリルができる庭もあります。駐車場は無料で使えます。乗務員は英語が話せます。

宿泊費

寝室や台所が一つあるアパートは1万フォリントです。（しかしこれは時期によって違うでしょう。夏の時もっと高くなるかもしれません。）

住所: 8360 Keszthely, Magyar utca 43

電話番号: +36 70 251 7425

メール: szallas+olivia-apartman-keszthely@szallas.hu

残念ながらホームページはありません。予約はインターネットか電話のみのようなです。

コシュート・ラヨシュ通りのお店・有名な建物など

ケストヘイの中心は Fő tér（中央広場）です。中央広場には Balaton Színház という有名な文化会館や Magyarok Nagyasszonya という名前の大きい教会があります。それから都庁の建物もここにあります。Balaton Színház には演劇やコンサートをはじめ映画上映や講義まで多種類のイベントが行われます。近くの「Átrium Üzletház」という「商店ハウス」には床屋や靴の専門店があります。噴水の正面に BENU という薬局があります。そして高校と教会の正面にお金の為替ができます。コシュート・ラヨシュ通りを広場のほうから歩く場合、右のほうへ行っても、左のほうへ行っても面白いお店やレストランが多く並んでいますが私は噴水から見た右、都庁の方をお勧めします。そちらへ歩くと洋服を売っているお店をはじめ、スポーツ専門店や色々な絵葉書と小さいお土産が売られているお店も数店あります。それから子供向けのおもちゃの専門店やカフェ・レストランなどもいっぱいあり、夏の時いくつのアイスクリームスタンドで美味しいアイスを楽しめます。綺麗なワイン蔵も道の半分ぐらいにあります。安い商品を買いたいなら「Pekingi Áruház」という日本のドンキホーテというお店に似ている商店や COOP というコンビニをお勧めできます。

コシュート・ラヨシュ通りの横道には博物館がいくつもあります。例えば民族衣装の人形展覧会、ホラー博物館、キャデラック博物館などです。入場料はたいていありますが、数百フォリントを払えば入れます。

端まで歩くと、フェシュテティチュ居城の近くにハンガリーの伝統的な手作りのものを売っているお店を見つけることも出来ます。居城の中にある展覧会を眺めたいと入場料を払わなくてははいけません、お城の庭もとても綺麗で無料で入れるので、見る価値があると思います。

コシュート・ラヨシュ通りを居城のほうから歩きたい場合、まずお城とその地下にあるレストランをに行き、それから道を中央広場の方へ歩いたほうが良いと思います。私は **Balaton Színház** (バラトン劇場) と中央広場の教会をお勧めします。バラトン劇場のプログラムについてもっと詳しくはこちらへ (ハンガリー語のみ)
<http://goldmarkmk.hu/>

町の中の歩き方

「一番良い」歩き方は泊まる宿の場所によって違います。わたしはまずコシュート・ラヨシュ通りを端から端まで歩いて眺めることをお勧めします。通りはそんなに長くないので約 20 分で歩けます。途中で小さいお店を見たりするのは楽しいと思います。そのあとはフェシュテティチュ居城の庭を回ったり、居城の中にある展覧会を見たりするのはいかがでしょうか。その後、フェシュテティチュ居城の地下にあるバラトニ・ボロク・ハーザレストランで食事をすると疲れを癒せます。食事をしたあとまたコシュート・ラヨシュ通りをゆっくり歩いたり、横道の小さい博物館を見たり、アイスを食べたりすると、とても楽しいと思います。横道の様々な博物館のうちには私は特に「Csigaparlament」(カタツムリ国会議事堂→右側の写真)をお勧めします。最後に **Balaton Színház** (バラトン劇場) に行き、気に入ったプログラム・公演などを選んで観たら、この楽しい通りの雰囲気をもっとよく感じることが出来ると思います。泳ぐのが好きな人は近くにあるバラトン湖の遊泳場やバスで 20-分ぐらいの距離にある温泉湖 **Hévíz** (ヘーヴィーズ) に行くことをぜひお勧めします。(もちろん、行くところの順番を変えても楽しいでしょう。)

